

R4 家庭学習の手引き（保護者版）

家庭学習の目的は、1「授業の復習予習をして、学習内容を習得する。」

2「自分から学ぶ習慣を身に付ける。」

自ら学ぶ習慣を身に付けることが、一番の学力向上の土台になるものです。学校と家庭が協力して、子どもたちの学力、学欲を高めていきたいと思ひます。家庭での学習の仕方を振り返り、「家庭学習のやり方」と「保護者の皆様へのお願い」を参考に取組んでいただきたいと思ひます。

1 保護者の皆様へのお願い

①学年に合った学習時間の確保

低学年・・・30分以上

中学年・・・45分以上

高学年・・・60分以上

②学習する環境づくり

- ・テレビは消して、机の上を整頓し、集中できる環境を作りましょう。
- ・勉強する場所を決めましょう。
- ・同じ時間に学習すると、家庭学習が習慣化されます。
生活サイクルの中で、どの時間に学習するか、相談して決めましょう。

③学習の順序

- 宿題（本読み・漢字ノート・計算ドリルなど）
- 自分からノート
- 次の日の準備（えんぴつピン・持ち物の準備）

「ほメッセージ」の目的

- ・子どもの意欲の向上
- ・保護者と学校をつなぐ
- ・子どもの頑張りを共有

④「ほメッセージ」で学欲アップ

- ・子ども学習したものには、必ず目を通してください。
- ・1年生から3年生は、○付けをお願いします。
- ・「自分からノート」や学習カードなどに、ほメッセージをお願いします。

（6年間通して）

褒め言葉や励ましの言葉が、どの子どもともうれしいものです。
「またがんばろう！」とやる気が高まります。

2 自分からノートの内容例

★1年生

2年生から始まる「自分からノート」への準備段階です。

○基本は「プリント2枚」か「プリントとドリル」

- ① 名前を丁寧に書いてから始めます。
- ② ○付けをして、間違いがあったら子どもに伝え、直しをしてください。
(宿題をやって、すぐに直すことが大切です。)
- ③ 「自分からプリント」として、決まったテーマの宿題を段階を追って出します。* 2学期後半から3学期

○宿題の基本は、本読み・計算カード

★2年生 自分からノート毎週2回 学ぶ習慣・学力をつける。

- 主語と述語、助詞(は・を・へ)、短文を書く。
- 季節や生き物などの言葉集め。
- 漢字ドリルや計算ドリルをもう一度やる。
- 足し算、ひき算、かけ算の意味を確かめ、文章問題をつくる。

★中学年 (週3回) 学欲(学ぶ意欲)・学力をつける。

- 授業の復習。学習したことを、もう一度自分の言葉でまとめる。
- 漢字ドリルや計算ドリルをもう一度やる。
- 教科書を見て、ノートに言葉の意味調べや短文づくり。
- 日記を書く。(初め・中・終わり)を意識する。
- 興味をもったことを、本やインターネットで調べ、調べ作文に書く。
- 新聞や本を読んで、感想を書く。

★高学年 (毎日) 基本は、予習・復習を行い、学力をつける。

- その日のうちに学習したことを、自分の言葉でまとめる。
- 計算ドリルや教科書の問題を自分からノートにやる。
- ことわざや四字熟語、わからない言葉を調べる。
- 新聞などの内容をまとめ、意見や感想を書く。
- 学習したことで、疑問や関心をもったことを、調べてまとめる。
- 予習をして、自分の考えをもち、授業に臨む。